

宇土市の未来のために 復興目指して全力投球！



ご挨拶

熊本地震の発生から間もなく2年になります。甚大な被害を受けた宇土市にとっての最大の課題は**震災からの復旧・復興**です。今なお被災によりやむを得ず仮住まいをされている方が1000名に上ります。事業所や施設が被災して仕事に大きな支障が生じている方も多く、また道路や河川、公共施設等の復旧も時間が掛かっています。**一日も早く元の姿の戻す**ことが、被災時の市長であった私に課せられた最大の使命だと思っています。

もちろん宇土市の課題はこの震災復旧だけではありません。10年後20年後を見据えて、「宇土に住み続けたい」「宇土に住んでみたい」「宇土に戻りたい」と思っただけのようナンバーワンにはならずとも**オンリーワンだと誇れるまちづくり**を並行して進めなければなりません。

宇土市は合併をしていないこともあり財政的にもゆとりはありません。その上に熊本地震において甚大な被害を受けており**危機的な状況**と言えます。こんな今だからこそ、市民の皆様と共に知恵を絞り、お力をお借りして、市民と行政が一体となって踏ん張っていくしかありません。

今年は**市制施行60周年**の記念すべき年に当たります。宇土市になって60年で**最大のピンチをチャンス**に変えて、目指すは「**早期の創造的復興**」と「**未来につながるまちづくり**」。

進取敢為の精神をモットーに、引き続き市政運営を担わせて頂くべく3期目の市長挑戦を決意しました。

無所属

元松しげき

53歳

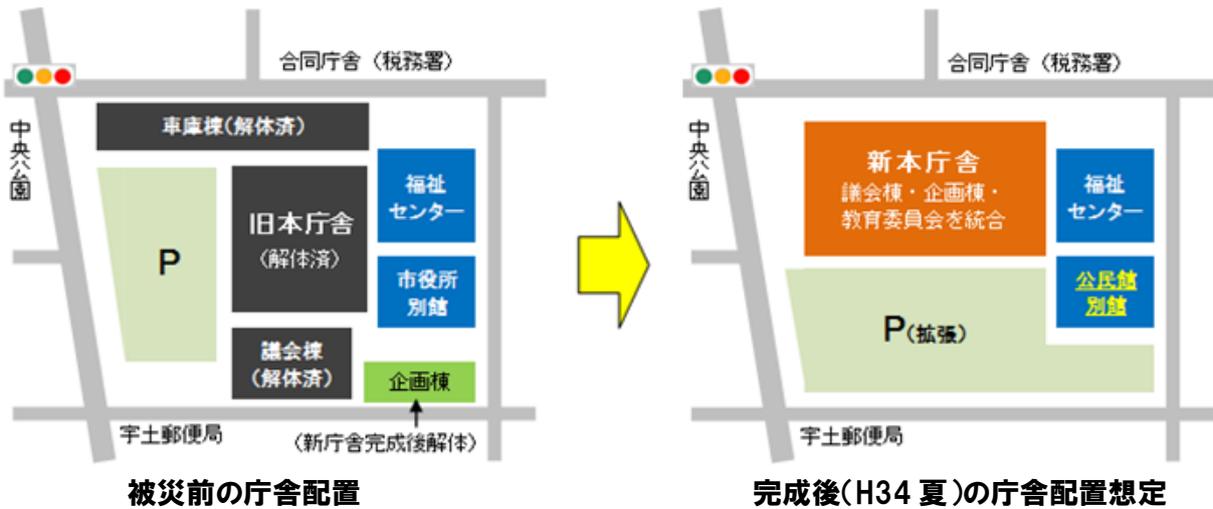
宇土市役所本庁舎の建設について

熊本地震により損壊した本庁舎については、国の一般災害復旧事業で建て替えを行います。この事業は対象経費（外構工事や付属施設等は除外）の**85.5%が交付税として補填**される極めて有利なものです。ただし（1）現地建て替え、（2）国が定める基準以下の床面積であること等の制約条件があります。

この度策定した庁舎建設基本計画において決定している内容は次の通りです。

建設地は旧庁舎跡地とし、建物は**延床面積 7400 m²程度の免震構造**とする。発災前に本庁舎外にあった施設のうち、議会棟、福祉センター、別館、企画棟、教育委員会棟に**分散配置していた部署を集約**。総事業費見込みは**44.6 億円**（うち本体建設工事費は 37.6 億円）。国の支援を除く市の純粋な負担額は約**10 億円**で、**庁舎建設基金（現有額約 1.1 億円）**等から補填する計画で、**平成34年春～夏頃の供用開始**を見込んでいます。

庁舎は災害時の**避難所**のほか、市民の皆さんが自由に集える**フリースペース**等も確保する計画です。



プロフィール

- 1965. 3 三角町のみかん農家に 1 女 2 男の末っ子として誕生
- 1983. 3 熊本県立宇土高等学校卒業
- 1987. 3 熊本商科大学商学部卒業
- 1991. 4 OA 機器の営業マン等を経て宇土市役所入庁（26 歳）
- 2002. 12 自治大学校第 II 部課程修了
- 2005. 9 著書「The 市役所改革～現役職員も物申す！」出版
- 2009. 12 総務課人事係長・行政係長等を経て宇土市役所退職（44 歳）
- 2010. 4 宇土市長就任（45 歳）
- 2014. 4 宇土市長 2 期目就任（49 歳）

○公職 宇土市社会福祉協議会会長
 熊本県市町村社会福祉協議会連合会会長
 上天草宇城水道企業団企業長
 宇城広域連合副連合長 ほか

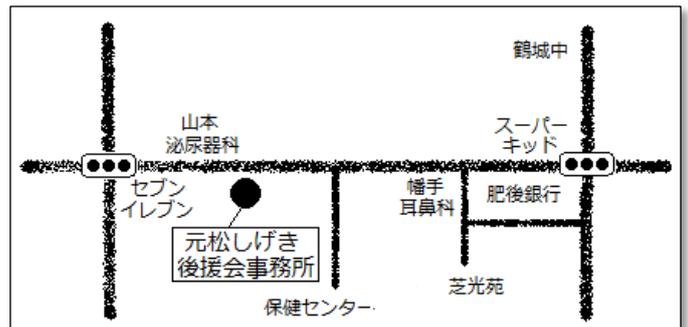
○住所 宇土市南段原町
 ○家族 妻・長女・次男・妻の母と 5 人家族
 ○趣味 スポーツ観戦・ボウリング・料理・パソコン
 ○座右の銘 進取敢為

元松茂樹後援会

後援会会長 米谷 正勝
 選挙長 緒方 勇

【アクセス】

〒869-0421
 熊本県宇土市南段原町 152
 TEL : 0964-26-1155 FAX : 26-1166
 E-mail : office_motomatsu@yahoo.co.jp
 URL : <http://motomatsu.ikidane.com/>
 facebook アカウント : 「元松茂樹」



**宇土市長選挙は
 4月1日告示・4月8日投開票です。**

4年間の実績 (H26~H29)

後半2年間は震災対応に明け暮れた状況でしたが、市長2期目のローカル・マニフェスト（選挙公約）に掲げた項目を中心に、一定の成果が得られた項目をご紹介します。

◆人に優しいまちづくり

- ・保育園の定員増(H26:1030人→H30:1191人)
※既設園の増員(130人)、小規模保育所2園新設(31人)
- ・市立幼稚園の延長・休日預かり開始
- ・花園幼稚園への特別支援クラスの設置
- ・副教材購入助成拡大
- ・医療費助成を中学3年生まで拡充
- ・全小中学校にエアコン設置
- ・給食費3人目以降の無償化
- ・市独自のスクールソーシャルワーカーの配置
- ・学童保育の定員増(H26:525人→H30:698人)
※宇土小・花園小校区に学童クラブ増設
- ・花園小トイレ全面改修
- ・鶴城中グラウンド全面改修
- ・徘徊高齢者SOSネットワーク事業開始
- ・24時間訪問介護看護ステーション開設
- ・住民票等のコンビニ交付開始
- ・雨乞い大太鼓の国重要有形文化財指定
- ・ふれあい座談会・ランチトークの開催70回超



◆豊かで稼げるまちづくり

- ・ふるさと納税返礼品による地元産品の販売拡大
H27:500万円→H28:2億5千万円(50倍)
- ・大型商業施設進出・・・雇用機会の拡大
- ・農業施設整備等補助事業の拡大
- ・住宅リフォーム事業による地場産業活性化
- ・干潟環境改善事業・・・アサリ復活の兆し



- ・網田地区に地域おこし協力隊を配置
- ・市民体育館にネーミングライツ導入
※H30.4から「ecowin 宇土アリーナ」に(年間150万円)

◆安全・安心なまちづくり

- ・船場川改良事業に着手
※河口に大型の排水機場を整備し大坪川の水も含めて強制排水を計画
- ・網津防災センター整備(H30.2 供用開始)



- ・各地区津波避難路の整備
- ・長部田、小池地区防潮水門の完成
- ・デジタル防災無線の整備
- ・宇土道路(城塚・網田間)の着工 国
- ・地域高規格道路「宇土道路」の着工 国
- ・国道57号網田中川橋交差点改良 国
- ・高潮対策堤防事業の進展(緑川地区は完了) 国
- ・潤川中流域の拡張事業着手 県
- ・県道バイパス暫定供用開始(H30.4 予定) 県
- ・網津川下流域拡張事業の進展 県

◆熊本地震関連

- ・指定急傾斜地災害復旧工事負担金ゼロ
- ・宇城上益城地区豪雨災害復興協議会設立
- ・中小企業の震災復旧借入金にかかる利子補給
- ・グループ補助金により施設再建支援
- ・武道館全面改修(空調機器導入・H30.4 供用開始)
- ・老人福祉センター再建(H30.4 供用開始)



- ・応急仮設住宅143戸整備
- ・公民館等修理助成事業
- ・復興まちづくり計画策定
- ・庁舎建設基本計画策定
- ・災害時相互応援協定締結
※神奈川県伊勢原市・奈良県桜井市・東京都狛江市



ローカル・マニフェスト (H30~H33)



市長3期目のローカル・マニフェスト（選挙公約）として掲げる項目です。
2期目までの実施事業で、一定の効果がみられる事業に関しては原則として暫定的に継続し、効果検証の上で継続・中止、或いは拡充・縮小を決定します。
震災関連事業に関しては、現在着手済み又は準備中の事業は原則として事業が完了するまで継続して取り組みます。
今回のローカル・マニフェストでは、宇土市の将来的な発展に繋がるものとして**長期的視点から事業検討（方向性の決定）を行う項目**もお示ししています。

◆人に優しいまちづくり

- ・行長しゃん号ルート見直し(商業施設巡回コース)
- ・網津県道バイパス R57 踏切拡張改良
- ・保育園の中途入園待機の解消
- ・放課後児童クラブの増員
- ・特別支援教育、ICT 教育の充実
- ・文化、生涯学習活動の活動環境整備
- ・教育委員会庁舎(新本庁舎に統合予定)の用途検討
- ・まちおこし協力隊員の活用による介護支援事業
- ・若者のまちづくり活動への参加支援策の検討
- ・船場川調整池ランニングコースの整備

◆豊かで稼げるまちづくり

- ・ふるさと納税による税収増加と物産振興
- ・宇土市民会館等へのネーミングライツ導入
- ・中心市街地での解体空地活用事業
- ・鳥獣駆除対策強化(資材助成費の限度額拡大など)
- ・特定作物生産支援
※飼料米、野菜等圃場の土壌分析、堆肥散布を助成
- ・海苔共同利用施設の設置支援
- ・あさり潮干狩り事業の支援
- ・西部地区での民泊業推進
- ・轟水源前広場へのアクセス道路整備
- ・市制施行 60 周年記念事業
※10 月 1 日に記念式典、12 月上旬には大相撲宇土場所の開催を予定。その他にも関連事業を実施する計画。

◆安全・安心なまちづくり

- ・船場川排水機場改修事業着手
- ・馬の瀬水路改修事業
- ・網津第二排水機場の強化更新
- ・防災広場等の整備(立岡・五色山・網田島山ほか)
- ・網田防災センター整備
- ・都市計画道路南段原線の延伸
- ・走潟小校舎の津波避難利用の検討
- ・河川監視の強化(飯塚川・網田川)
- ・津波避難道路の整備(追加と照明設置)
- ・通学路の安全対策

◆熊本地震関連

- ・被災者の自立サポート
- ・市本庁舎建設(現在地建替)
- ・中央公民館建設(現在地建替)
- ・立岡体育館、中央公民館分館復旧工事
- ・就業改善センター(商工会)復旧工事
- ・入地団地 1 号棟復旧工事
- ・災害公営住宅 25 戸建設(境目町)
- ・木造応急仮設住宅 26 戸を市営住宅に転用
- ・大規模造成地震災復旧事業
- ・中小企業の震災復旧借入金にかかる利子補給
- ・船場橋解体修理+河道拡張
- ・被災消防ポンプ車格納庫再建整備
- ・史跡宇土城跡災害復旧事業
- ・旧高月邸解体修理事業

◆長期的な事業検討(方向性を定めるもの)

- ・県道 14 号・ウキウキロード沿線エリア土地利用検討
- ・城塚インター周辺エリアの土地利用検討
- ・飯塚川の氾濫防止対策の検討
- ・農業用水路の再整備検討
- ・轟泉水道の国重要文化財への指定検討
- ・御輿来海岸の日本遺産への指定検討

◆国・県・広域連合の事業

- ・熊本宇土道路(海路口・城塚間)の整備促進 国
- ・宇土道路(城塚・網田間)の整備促進 国
- ・走潟地区高潮対策堤防の整備完了 国
- ・潤川、網津川、網田川の整備推進 県
- ・北部農免道路(中村踏切交差点)の整備完了 県
- ・南部農免道路の整備促進 県
- ・県道網津バイパスの整備促進 県
- ・宇城広域連合消防本部の建て替え 広
- ・汚泥処理センターの更新建て替え 広
- ・宇城クリーンセンターの更新建て替え 広